

株主優待のお知らせ

2011年9月末日および2012年3月末日の年2回を
割当基準日とし、その時点における株主名簿に記録の
所有株式数に応じて、株主用パスポート(※)をお配りいたします。



※「東京ディズニーランド」または「東京ディズニーシー」どちらかのパークで利用可能な1デーパスポート/有効期間:1年(期限はパスポートに記載) ご注意:入園制限が行われている時間帯、12月31日の年越し営業や、通常営業終了後に開催される特別営業実施時においては、ご利用いただけません。

	2011年 9月末日	2012年 3月末日	合計
100株以上	1枚	1枚	2枚
200株以上	2枚	2枚	4枚
300株以上	3枚	3枚	6枚
400株以上	4枚	4枚	8枚
500株以上	5枚	5枚	10枚
3,000株以上	6枚	6枚	12枚

会社概要・株式の状況

(2011年9月30日現在)

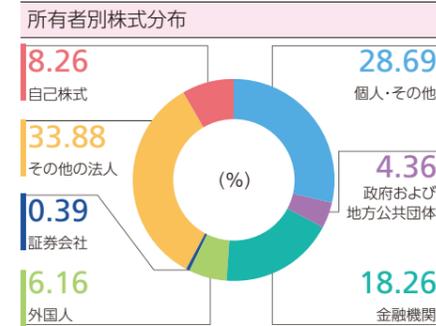
商号	株式会社オリエンタルランド
証券コード	4661
設立	1960年7月11日
本社所在地	〒279-8511 千葉県浦安市舞浜1番地1
資本金	63,201百万円
事業内容	テーマパークの経営・運営など
主要取引銀行	株式会社みずほコーポレート 銀行 中央三井信託銀行株式会社
格付	AA (JCR 日本格付研究所) AA- (R&I 格付投資情報センター)
連結子会社	14社

役員	
取締役	
加賀見 俊夫	代表取締役会長(兼) CEO
上西 京一郎	代表取締役社長(兼) COO
砂山 起一	代表取締役
柴 洋二郎	代表取締役
入江 教夫	取締役
田丸 泰	取締役
鈴木 茂	取締役
高野 由美子	取締役
横田 明宜	取締役
菊池 和年	取締役
高延 博史	取締役
花田 力	取締役(社外)
監査役	
土屋 文夫	常勤監査役
飯塚 勲	常勤監査役(社外)
大塚 弘	監査役(社外)
中野 明安	監査役(社外)

発行済株式総数	90,922,540 株
株主数	125,698 名

大株主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
京成電鉄株式会社	18,157	19.97
三井不動産株式会社	7,689	8.46
千葉県	3,300	3.63
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,019	2.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,696	1.87

(注) 上記のほか、自己株式が7,506千株あります。



株主メモ

住所・氏名・振込口座などの変更について

ご所有の株式の記録先に応じてお問い合わせ先が異なります。下記の〈お手続き・ご連絡先〉をご覧ください。

配当金領収証による配当金のお受け取りについて

配当金領収証を、払渡期間中(2012年1月31日まで)にゆうちょ銀行へお持ちください。なお、配当金は口座振込でもお受け取りいただけます。確実に手間なくお受け取りいただける口座振込をぜひご利用ください。お問い合わせは、下記の〈お手続き・ご連絡先〉をご覧ください。

〈お手続き・ご連絡先〉

証券会社の口座に株式が記録されている方

→ お取引先の証券会社にてお手続きください

特別口座に株式が記録されている方

→ 中央三井信託銀行にてお手続きください

株主名簿管理人

東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-78-2031 (平日9:00 ~ 17:00)

株主優待・株式手続きに関するお問い合わせ先

株式会社オリエンタルランド 総務部
TEL: 047-305-3017 (平日9:00 ~ 17:30)

株主通信に関するお問い合わせ先

株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ
TEL: 047-305-2035 (平日9:00 ~ 17:30)

免責事項

本誌にはさまざまな予想や見通しが含まれています。当社グループの事業は、経済情勢、顧客嗜好の変化、天候・災害などの影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べているさまざまな予想や見通しには不確実性が含まれていることをご承知おきください。



本誌は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

株主通信

2011年 秋冬号

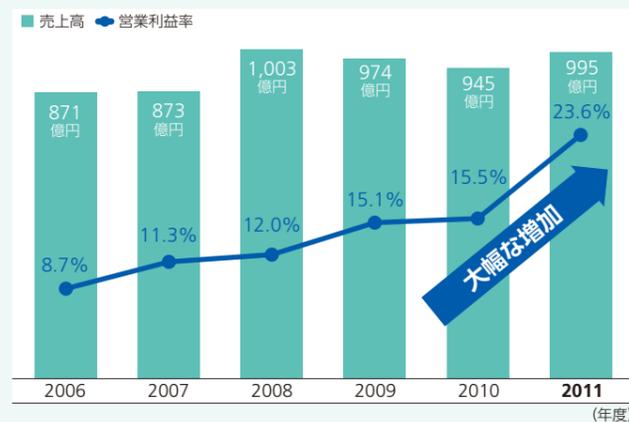


上半期実績

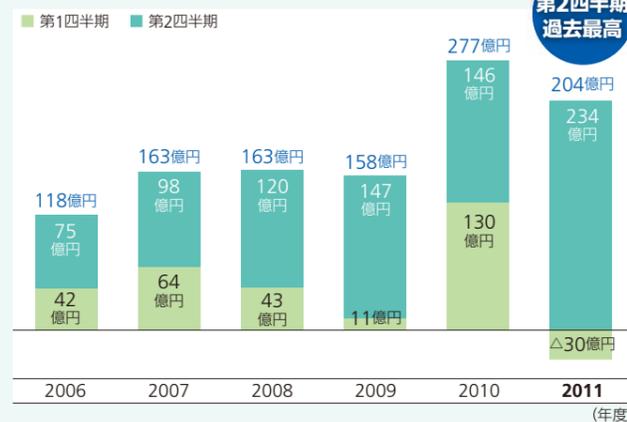
第1四半期は減収減益となるものの、第2四半期は過去最高の営業利益を達成

上半期実績	2010年度 (億円)	2011年度 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	1,797	1,481	△315	△17.6%
第1四半期	851	485	△366	△43.0%
第2四半期	945	995	50	5.4%
営業利益	277	204	△73	△26.4%
第1四半期	130	△30	△160	-
第2四半期	146	234	87	59.6%
経常利益	275	203	△71	△26.1%
純利益	160	86	△73	△46.0%

売上高・営業利益率の推移(第2四半期)



営業利益の推移(上半期)



通期業績予想

過去最高の営業利益・経常利益・当期純利益を見込む

通期業績予想	2010年度実績 (億円)	2011年度予想 (億円)	増減 (億円)	増減率
売上高	3,561	3,431	△130	△3.7%
営業利益	536	558	21	4.0%
上半期(実績)	277	204	△73	△26.4%
下半期	259	353	94	36.4%
経常利益	528	550	21	4.0%
当期純利益	229	294	65	28.4%

売上高・営業利益率の推移(通期)



営業利益の推移(通期)



株主の皆さまへ

東日本大震災で被災された皆さまのご健康と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

東京ディズニーリゾート営業休止中は、皆さまに大変ご心配をおかけいたしました。そして、多くの励ましのお言葉を頂戴いたしましたことに御礼申し上げます。



着実な回復を果たし、今後も持続的な成長へ

第2四半期は過去最高の営業利益

2011年度上半期は、第1四半期における営業休止の影響などにより減収減益となりました。しかしながら、第2四半期は新アトラクションの導入や消費マインドの持ち直し傾向などにより集客は段階的に回復し、テーマパーク入園者数が過去最高となるなど売上が回復いたしました。加えて、コストコントロールを徹底したことなどにより、第2四半期の営業利益は過去最高となりました。震災やその後の電力供給不足の影響など厳しい経済環境下におきまして、このように着実に業績を回復することができましたのも、ステークホルダーの皆さまのあたたかいご支援のおかげです。今後とも宜しく申し上げます。

4期連続での最高益へ

2011年度の業績予想は、震災による影響のため未定としておりましたが、上半期の決算実績などを踏まえて公表いたしました。下半期は過去最高の営業利益を見込んでおり、これにより通期の営業利益は558億円と4期連続での最高益となる見込みです。なお、今年度の1株当たり配当金は、100円を

予定しております。外部環境も勘案しつつ、今後も安定的な配当を目指してまいります。

「2013 中期経営計画」を着実に推進

中期的な業績イメージといたしましては、「2013 中期経営計画」期間内に震災前の水準である営業利益600億円レベルを目指してまいります。

2012年夏には新アトラクション「トイ・ストーリー・マニア!」、2012年秋には「グーフィーのペイント&プレイハウス」をそれぞれオープンする予定です。また、2013年には東京ディズニーリゾート30周年を盛大にお祝いするイベントも計画するなど、引き続き東京ディズニーリゾートのバリューアップを図ることで「2013 中期経営計画」を着実に推進してまいります。今後とも、OLCグループにご期待くださいますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役社長(兼) COO
上西 京一郎

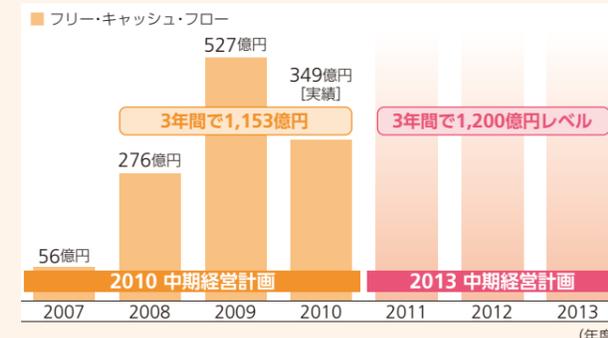
2013 中期経営計画

当社では、2013年度までの中期経営計画を策定しており、今年度がそのスタートの年となります。

「フリー・キャッシュ・フロー*3年間で1,200億円レベル」という目標値につきましては、震災の影響を見極めていましたが、今回、変更しないことにしました。また、中期的な業績イメージといたしましては、「2013 中期経営計画」期間内に震災前の水準である営業利益600億円レベルを目指してまいります。

*フリー・キャッシュ・フロー=当期純利益+減価償却費-設備投資額

目標値



中期的な業績イメージ



イベントカレンダー

※ アトラクション、ライブエンターテイメントなどの開催は、天候その他の理由により変更または中止になる場合があります。※ イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月～
東京ディズニーランド	2011.11.7～12.25 スペシャルイベント 「クリスマス・ファンタジー」	2011.12.31 特別営業 (2011.12.31 20:00～2012.1.1 6:00) 新年の幕開けを花火でお祝いします 2012.1.1～1.5 「お正月のプログラム」			2012.4.3～6.30 スペシャルイベント 「ディズニー・イースターワンダーランド」			2012.7.9～8.31 新スペシャルイベント 「ディズニー夏祭り」 2012年秋オープン予定 新アトラクション 「グーフィーのペイント&プレイハウス」
東京ディズニーシー	2011.9.4～2012.3.19 東京ディズニーシー 10th アニバーサリー 「Be Magical!」	2011.12.31 特別営業 (2011.12.31 20:00～2012.1.1 6:00) 新年の幕開けを花火でお祝いします 2012.1.1～1.5 「お正月のプログラム」 “恐怖”倍増の新プログラム「タワー・オブ・テラー：Level 13」 2012.1.4～3.16			2012.4.3～6.30 新スペシャルイベント 「ミッキーとダッフィーのスプリングヴォヤージュ」			2012年夏オープン予定 新アトラクション 「トイ・ストーリー・マニア!」

東京ディズニーシー
10th 2011. 9. 4 ~ 2012. 3. 19
「Be Magical!」
 不思議な力を持つマジカルハットをかぶって魔法使いとなったミッキーマウスが、仲間に協力してもらい、10周年の東京ディズニーシーに眠る魔法を呼び起こします。
 魔法に包まれた10周年の東京ディズニーシーをお楽しみください。



スペシャルイベント 2011. 11. 7 ~ 12. 25
「クリスマス・ファンタジー」
 ディズニーならではのサンタの住む村をイメージした“ディズニー・サンタヴィレッジ”の世界を舞台に、パレードやプラザのデコレーションなどパークのいたるところで、サンタの村の世界を存分に味わうことができます。

新スペシャルイベント 2012. 4. 3 ~ 6. 30
「ミッキーとダッフィーのスプリングヴォヤージュ」
 東京ディズニーシーで人気のダッフィーが、ミッキーマウスとともに、はじめて主役として登場するスペシャルイベントです。ミニーマウスとシェリーメイに世界中の春を見せてあげようと、船旅に出るミッキーマウスとダッフィー。旅の目的地となるメディテレーニアンハーバー、アメリカンウォーターフロント、アラビアンコーストの3つのテーマポートでは、春の到来を祝う、ミニショーが公演されます。



東京ディズニーリゾート情報
 東京ディズニーリゾート・オフィシャルウェブサイト URL www.tokyodisneyresort.co.jp (PC/モバイル共通)

お問い合わせ 東京ディズニーリゾート・インフォメーションセンター 総合案内 TEL: 0570-00-8632 (9:00～19:00) ※ PHSおよび一部のIP電話・国際電話の方は045-330-5211 音声情報サービス TEL: 0570-00-3932 (24時間) ※ PHSおよび一部のIP電話・国際電話からはご利用いただけませんのでご了承ください。	宿泊、レストランなどのご予約 東京ディズニーリゾート総合予約センター ディズニーホテルの宿泊予約状況はオフィシャルウェブサイトにてご確認ください。 TEL: 0570-05-1118 9:00～18:00 宿泊のご予約・宿泊に伴うレストランのご予約 10:00～18:00 レストランのご予約・ご予約全般のお問い合わせ ※ PHSおよび一部のIP電話・国際電話の方は045-683-3333
---	--

新アトラクション 2012年夏オープン予定
「トイ・ストーリー・マニア!」
 ディズニー/ピクサー映画「トイ・ストーリー」シリーズを題材とし、立体映像のさまざまなターゲットを狙う臨場感溢れるゲスト参加型の3Dライドアトラクションです。



新アトラクション 2012年秋オープン予定
「グーフィーのペイント&プレイハウス」
 グーフィーの部屋の中で、まるで本当にペンキを使って、ユニークな模様替えをしているかのような体験を楽しむことができるアトラクションです。グーフィーに気に入ってもらえるよう、参加するゲスト全員で力を合わせながら、ビーチ風やジャングル風などさまざまなテーマで部屋中をカラフルに色づけしていきます。現実ではありえない、驚きと楽しさのある模様替えを、小さなお子さまも一緒に楽しみください。

2013年春 全面リニューアル
「スター・ツアーズ：ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」
 1989年の導入以来、幅広い層のゲストからの人気を博してきたアトラクションがリニューアルします。シーンごとに複数のシナリオをランダムに選択するシステムの導入により、常に50通り以上の組み合わせでストーリーが展開され、ゲストは体験する度に予測不能なスリルを味わうことができます。
 また、新たに映像も3Dとなり、映画「スター・ウォーズ」シリーズの世界をこれまで以上の迫力と臨場感のなかでお楽しみいただくことができます。



ご意見 東京ディズニーリゾート・ゲストご相談室
 TEL: **047-729-0733** (9:00～18:00)
 住所: 〒279-8511 千葉県浦安市舞浜1番地1
交通情報 東京ディズニーリゾート交通情報テレホンサービス
駐車場およびお車でのアクセス情報
 TEL: **0570-00-3388** (24時間)
 ※ PHSおよび一部のIP電話・国際電話からはご利用いただけませんのでご了承ください。

シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京 オフィシャルウェブサイト
 URL www.zed.co.jp (PC/モバイル共通)
 シルク・ドゥ・ソレイユ「ZED(ゼット)」は、2011年12月31日をもって公演を終了します。
インフォメーションデスク
 TEL: **0570-00-9444** (10:00～17:00 / 2012年1月31日まで)
 ※ PHSおよびIP電話・海外からはご利用いただけませんのでご了承ください。

事業別概況

第1四半期における震災の影響などにより減収減益となったものの、第2四半期以降、テーマパーク事業をはじめ各事業が着実に回復しております。

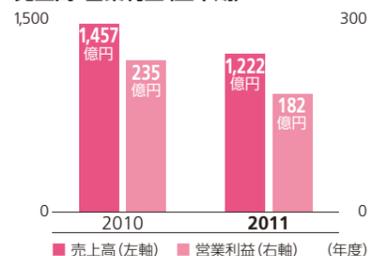
テーマパーク事業

主な施設 東京ディズニーランド 東京ディズニーシー



「ファンタズミック」
(東京ディズニーシー)

売上高・営業利益(上半期)



上半期の売上高は1,222億円(前年同期比16.1%減)、営業利益は182億円(同22.7%減)と減収減益となりました。

4月に東京ディズニーシーの新ナイトエンターテイメント「ファンタズミック!」を導入したほか、夏には2つのテーマパークで“水を使った夏のプログラム”を実施いたしました。また、9月4日より東京ディズニーシー 10thアニバーサリー「Be Magical!」がスタートするなど、期間を通じてさまざまなスペシャルイベントを実施いたしました。

第1四半期の入園者数は、4月まで休園したことなどから前年同期を下回ったものの、各種スペシャルイベントや新アトラクションの導入に加え、消費マインドの持ち直し傾向などにより集客は段階的に回復し、第2四半期の入園者数は、過去最高となりました。この結果、上半期の2つのテーマパークの合計入園者数は10,739千人(同17.1%減)となりました。

また、ゲスト1人当たり売上高は、第1四半期は前年同期を下回ったものの、第2四半期以降は、東京ディズニーシー 10周年関連商品が好調に推移したことなどから、過去最高の9,904円(同0.7%増)となりました。

この結果、第1四半期は、休園の影響などにより減収減益となったものの、第2四半期は、売上高が回復したことに加えて、第1四半期に引き続きコストコントロールを徹底したことなどにより過去最高の営業利益となりました。

ホテル事業

主な施設 ディズニーアンパサダーホテル 東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ 東京ディズニーランドホテル

売上高・営業利益(上半期)



上半期の売上高は165億円(前年同期比28.2%減)、営業利益は29億円(同38.4%減)と減収減益となりました。

第1四半期は、営業休止に加え、各ホテルの客室稼働率が前年同期を下回ったことなどから、減収減益となったものの、8月以降の客室稼働率は前年レベルに回復し、第2四半期の営業利益は前年同期レベルとなりました。

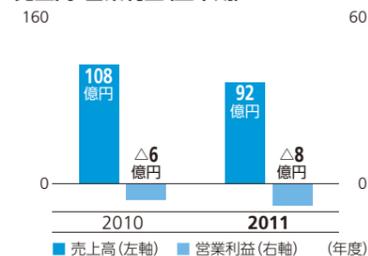


東京ディズニーランドホテル

その他の事業

主な施設 イクスピアリ シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京

売上高・営業利益(上半期)



上半期の売上高は92億円(前年同期比15.1%減)、営業損失は8億円(前年同期は6億円の営業損失)と減収減益となりました。

第1四半期は、営業休止の影響などにより減収減益となったものの、第2四半期はシアトリカル事業などが改善し、営業損益は増益となりました。



イクスピアリ

OLCフォーラム

株主通信アンケートの結果をご報告します

前回の株主通信アンケートにおきましては、多数のご回答ならびに貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。その集計結果の一部をご報告します。

Q 当社が社会に創出すべき価値とは何だと思えますか。



「夢」というキーワードがもっとも多いご回答となりました。

「自由でみずみずしい発想を原動力に、素晴らしい夢と感動、ひととしての喜び、そしてやすらぎを提供します。」という企業使命に基づき、今後も皆さまにハピネスを届け続けてまいります。

これからも添付のアンケートはがきでご意見・ご質問をお寄せください。頂戴したお声は本誌上および当社IRサイト(www.olc.co.jp/ir)で可能な限り回答させていただくとともに、経営に反映させるよう努めてまいります。



2011年度の「IR 優良企業特別賞」を受賞しました!

2011年11月、当社は、日本IR協議会が選定する2011年度「IR 優良企業特別賞」を受賞しました。東日本大震災により休園を余儀なくされたものの、公平かつ有益な情報発信を続けた姿勢が高く評価されました。

当社は、今後も一人でも多くの方にハピネスを届けるために、透明性と公正性の高い経営に努め、あらゆるステークホルダーの皆さまに信頼していただける企業であり続けたいと考えています。



株主優待・配当金計算書と同時にお届けします

今回から株主通信は、株主優待・配当金計算書と同じタイミングでお届けすることにいたしました。それに伴いまして、今まで株主通信に掲載していた「連結決算レポート」はIRサイト(www.olc.co.jp/ir)に掲載しております。



株主還元について

「安定的な配当を目指す」という方針に基づき、第2四半期末の配当金は1株につき50円、期末配当金は50円を予定しており、通期では前期と同額の100円となる見通しです。

今後も、当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要政策の一つとして実施してまいります。

1株当たり年間配当額の推移

